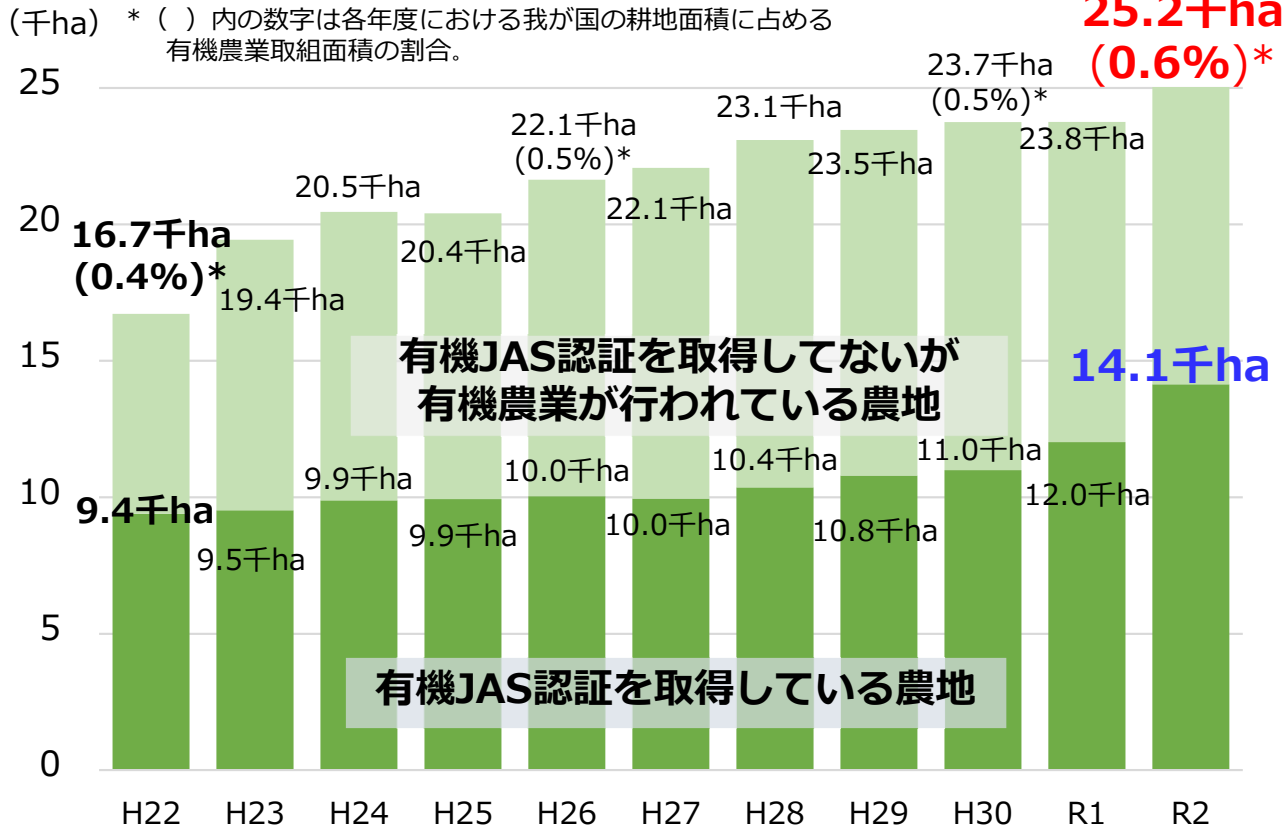


日本の有機農業の取組面積について

- 日本の有機農業の取組面積は過去10年で約5割拡大。
- 近年、有機JAS認証を受けている農地の取組面積が拡大傾向。特に、北海道の牧草地や普通畑、九州の茶畑の面積が大きく拡大。

日本の有機農業の取組面積の推移



有機農業取組面積は10年で**51%**増加

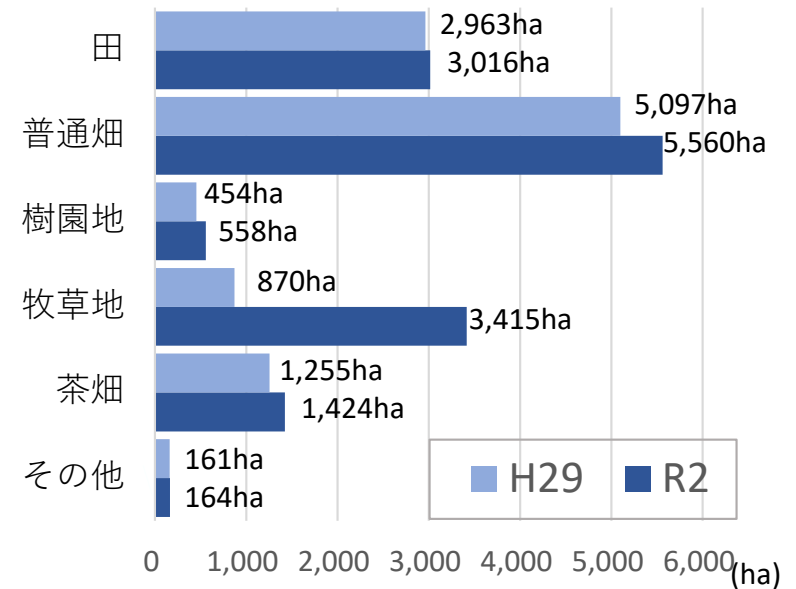
H22 16.7千ha → R2 25.2千ha

有機JAS取得農地面積は10年で**50%**増加

H22 9.4千ha → R2 14.1千ha

※ 有機JAS認証を取得しているほ場面積は農林水産省食品製造課調べ。有機JASを取得していない農地面積は、農業環境対策課による推計（注：H22年度は「平成22年度有機農業基礎データ作成事業」（MOA自然農法文化事業団）による推計による。H23～26年までは、H22年度の調査結果からの推計又は都道府県からの聞き取りにより推計、H27年度以降は、都道府県からの聞き取りにより推計し、農業環境対策課にて取りまとめ。）

有機JASの地目別面積の推移 (H29年度→R2年度)



地目別で、有機JAS面積の伸びの大きい都道府県 (H29年度→R2年度)

田 1. 宮城県 61ha
2. 兵庫県 57ha

普通畑 1. 北海道 110ha
2. 千葉県 64ha

牧草地 1. 北海道 2,545ha
2. 千葉県 55ha

茶畑 1. 鹿児島 179ha
2. 宮崎県 35ha